



えぼし麻呂

えぼ丸通信 No.1



げんき丸

- 1P「えぼ丸通信」をお手にしていただいた方へ
- 2P「在宅ケア相談窓口」って何しているの？
- 3P「多職種研修会」
- 4P「住民向け研修会」のお知らせ

発行元：茅ヶ崎市保健所

茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-8-7

地域保健課 地域保健担当

在宅ケア相談窓口



「えぼ丸通信」をお手にしていただいた方へ

この通信は、平成29年6月1日より、茅ヶ崎市保健所内に開設された「在宅ケア相談窓口」からの情報紙です。この窓口は、茅ヶ崎市と寒川町が協同事業として行っている《在宅医療介護連携推進事業》の一環として開設されたものです。

この窓口の開設は、これからの超高齢社会を見据えて、住み慣れた地域で尊厳ある生活を継続させることを目的に、住民の方や医療介護の専門職からのご相談を受け、問題の解決に向けてそれぞれの立場で協力しながら、安心して住み続けることのできる地域を作っていくことを目的としています。

今年「在宅ケア相談窓口」では、茅ヶ崎市と寒川町が協同事業として相談員・保健師・事務職の3名を確保した上でこの窓口を立ち上げ、この地域の医療介護連携を推進させていくために様々な事業を計画実践しています。

この地に住んでいて良かったと思えるような地域作りは、色々な方の力を合わせて、みんなで作り上げていくことが大切だと考えます。「在宅ケア相談窓口」では、その目的を達成するために、地域全体で協同するためのシステム作りを推進していきます。

「在宅ケア相談窓口」って何しているの？

「在宅ケア相談窓口」は、相談窓口業務のほかに、在宅の医療や介護の連携に関する事業計画を立て、それを実践する事務局としての役割も担っています。業務の主軸は、住民の方への周知・仕組みづくり・関係者人材育成を3本柱として、いろいろな方の協力を得ながら地域作りを推進しています。

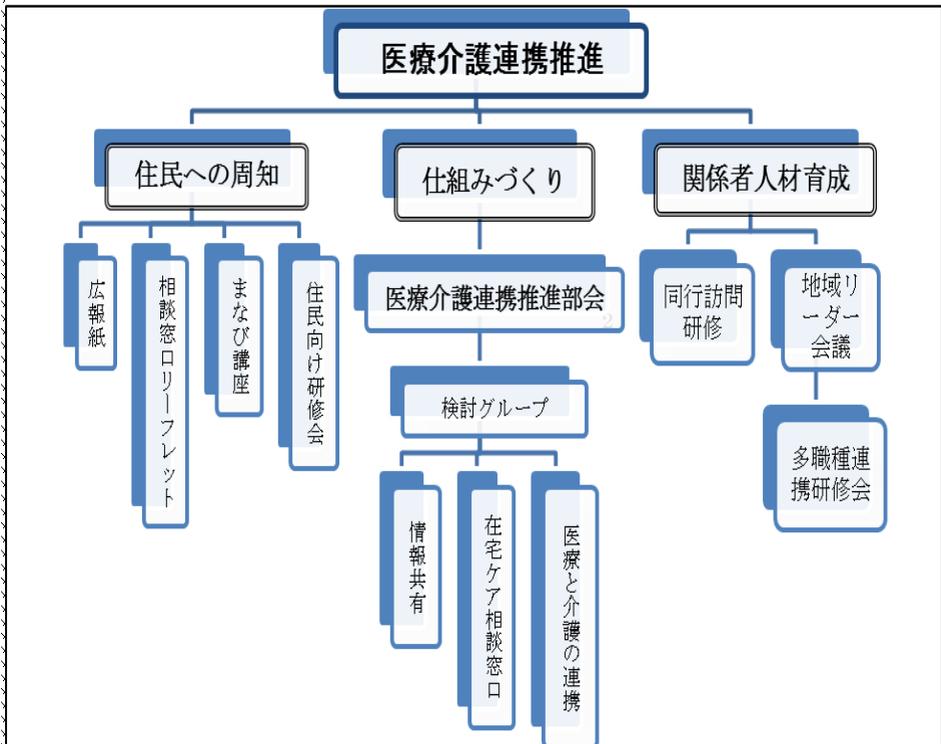
住人の方の協力やご意見をいただくことが、この事業を進める上で大変重要だと考えています。相談やご意見を気軽に窓口へ届けていただくと、大変うれしいです。

あがき県
えびし県民



連絡先: ☎0467-38-3319

茅ヶ崎市保健所 在宅ケア相談窓口



在宅医療介護に関わる専門職の勉強会

「多職種連携研修会」

平成 29 年 9 月 28 日に医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、栄養士、看護職、ケアマネ、社会福祉士等々多くの専門職が集まって研修会が開かれました。専門職の皆さんは勉強熱心で、開始が 19 時 15 分からという遅い時間にも関わらず、なんと 184 名の参加がありました。

第 1 部は、在宅ケア相談窓口のスタッフによる報告として、地域の現状と相談窓口に入った相談内容をお話しました。第 2 部では、「地域包括システムってなに？」というテーマで、鶴が台菅原医院副院長の菅原一朗先生に講演をお願いしました。

この研修会は、今回で 13 回目となり、この地区で専門職の方たちが真剣に在宅医療介護に取り組んできたことの軌跡だと思います。病院からの参加も多く、より深化していきそうです。

今年度は、後 2 回の研修会が計画されており、熱い討論がなされていくと思います。頼もしい仲間たちが集う研修会を楽しみにしたいと思います。



鶴が台菅原医院 菅原一朗医師

今後の予定

第 14 回

H29 年 11 月 16 日(木)

19:15～

市役所本庁舎 4 階

グループワーク 予定

第 15 回

H30 年 2 月 8 日(木)

19:15～

市役所本庁舎 4 階

パネルディスカッション

予定

専門職の方の参加を

お待ちしております。



今年度の住民向け研修会では、社会学者の上野千鶴子氏をお迎えして、
これからの生き方(逝き方)を考える機会にしたいと思います。

上野氏は介護の現場にも詳しい方で、
これからの地域づくりを考えるヒントを与えていただけると思います。
ご近所の方とお誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

住民向け講演会 H30年1月14日(日)14時～

茅ヶ崎市役所 本庁舎4階会議室

講師 上野千鶴子氏

社会学者 東京大学名誉教授

認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長

テーマ「おひとりさま」が最期まで自分らしく生きるには

～安心して老いるために準備すること～

申し込み方法は12月1日号の広報紙をご覧ください



演者著書

「おひとりさまの老後」「おひとりさまの最期」「老い方上手」

「迫りくる『息子介護』の時代：28人の現場から」「家長長制と資本制」

ハピズ 「近代家族の成立と終焉」「ケアのカリスマたち 看取りを支えるプロフェッショナル」

在宅医療と介護の講座講師派遣のご案内

開催予定の1か月
前までに、在宅ケア
相談窓口までお申
込みください。

TEL: 38-3319

『在宅医療』をご存知ですか？

住み慣れた地域で暮らし続けるためにできることがあります。
家での療養を支援するために、在宅医療という選択肢があります。
地域の集まり(地域のサロン・自治会等)に在宅ケア相談窓口の
職員が講師として伺います。安心な生活につながるヒントを
盛り込んだ内容で気軽に学んでみませんか？